

# 胃切除術を受けられる患者様へ

- ・入院期間は変更があることもあります
- ・詳細につきましては、入院された後、看護師より説明させていただきます

経過	入院日	手術当日		手術翌日	術後2～3日目	術後4～6日目	術後7～12日目	術後13～15日目 退院		
日時	( / )	( / )	( / )手術前	( / )手術後	( / )	( / )	( / )	( / )		
目標	・心身ともに安定した状態で手術にのぞめる		・疼痛がコントロールされる		・出血を起こさない	・痛みのコントロールができる異常なく飲水が開始できる	・スムーズに経口摂取ができる ・ダンピング症状による苦痛がない	・創部の感染兆候がない ・食事後の通過障害がない ・退院後の生活の注意点が理解できる		
検査	採血 場合によっては胃カメラを行うことがあります		手術室入室予定時間 ( : )	体温、脈拍、血圧を定期的に測定します	採血 レントゲン	透視造影検査				
治療			 □9時からの手術です 点滴せずに手術室へ行きます □9時以降の手術です 10時過ぎから点滴をします	 朝・夕に抗生物質を点滴します 点滴を続けます 酸素吸入を行います	 酸素吸入を終了します		食事摂取できていれば点滴の針を抜きます 食事摂取の状況により、点滴の必要性を考慮します	退院 病理検査の結果が出れば医師よりご説明いたします。病理結果が退院時点で出ていないときは、外来でご説明させていただく場合があります 		
説明・観察	看護師が、これまでにかかった病気、飲んでいる薬などについて伺います。 <b>現在内服中のお薬は、お薬の説明書と共に忘れずにご持参ください。手術に備え、和式の寝巻き1枚、腹帯1～2枚、T字帯1枚、バスタオル1枚をご用意ください。</b> 氏名確認のためのリストバンドをつけていただきます 		主治医より( / )( )時頃に手術の説明があります。ご家族の方と一緒に聞いていただき手術説明書・同意書をお渡しします。必要事項を記入の上、看護師にお渡しください □( / )麻酔科医による診察があります 		時計、指輪、眼鏡、コンタクトレンズは予め、はずしておいてください。義歯ははずす必要はありませんが、看護師までお知らせください ウィッグ（かつら）を装着している場合は、事前に看護師に申し出てください 手術当日の朝の内服薬については入院後に説明します		入院中のご家族の面会は禁止となっております。手術当日も同様です。手術後は主治医から手術の経過についての電話連絡があります		水分摂取の許可があれば、看護師または栄養士より食事摂取の方法について説明があります	
	看護師が手術までの流れについて説明をします				場合によって、創部にドレーン、鼻に胃管が入ります。尿道に尿管が入ります		尿管が抜けたら蓄尿をしていただきます			
処置	へその掃除を行います				術後48時間は1日3回の血糖測定を行います					
入浴					タオルで体を拭きます 		ドレーンが抜けたらシャワー浴ができます 		全抜鉤（抜糸）をします	
活動	制限ありません 		歩いて手術室に行きます 病院で準備したハイソックスを着用して行きます		手術後はベッド上安静となります。寝返りはうってもかまいません 		制限ありません。最初は看護師と一緒に歩きましょう 		定期的に歩きましょう 	
食事	あなたの食事は( )食です		夕食以降は何も食べることができません		手術当日の食事は禁止です。水分は麻酔科医の指示のもと( )時まで飲むことができます		絶飲食となります		医師の診察後、許可があれば飲水ができますようになります 	
							医師の許可後食事が開始となります。胃切4日目食まで10時半と15時半に間食が出ます		胃切5日目食以降は15時半に間食が出ます	